

肩・腰・関節の

痛みに

ジクロフェナクナトリウム

B2811

開封口

ご使用に際して、このケースの記載内容を必ず読んで下さい。
また、必要な時に読めるよう大切に保管して下さい。

【販売名】 タイアンテロンDFクールローション
〈経皮鎮痛消炎剤〉

特徴

- タイアンテロンDFクールローションはジクロフェナクナトリウムを配合した非ステロイド系の鎮痛消炎ローション剤です。
- ジクロフェナクナトリウムは、痛みのもととなるプロスタグランジンの生成を抑えて、痛みをやわらげます。
- メントールは清涼感を与え、痛みをやわらげます。

保管及び取り扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない涼しい所に密栓して保管して下さい。
- (2) 火気に近づけないで下さい。また、使用後は火中に投げしないで下さい。
- (3) 小児の手の届かない所に保管して下さい。
- (4) 合成樹脂を軟化させたり、塗料を溶かしたり、金属を変色させるおそれがあるので付着しないように注意して下さい。
- (5) 他の容器に入れ替えないで下さい。(誤用の原因になったり品質が変わることがあります。)
- (6) 使用期限を過ぎた製品は使用しないで下さい。なお、使用期限内であっても、開封後はなるべく速やかに使用して下さい。

本剤について、何かお気付きの点がございましたら、
ご購入のお店又は下記までご連絡いただきますようお願い申し上げます。

消費者相談窓口：協和薬品工業株式会社 お客様相談室

☎058-246-8771

受付時間 9:00~12:00・13:00~17:00(土、日、祝日を除く)

副作用被害救済制度の問合せ先

(独) 医薬品医療機器総合機構

http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai_camp/index.html

☎0120-149-931(フリーダイヤル)

火気厳禁

第二石油類 危険等級Ⅲ

(エタノール、マコゴール)

100mL

製造 協和薬品工業株式会社

販売元 岐阜県岐阜市野一色二丁目8番6号



セルフメディケーション
税 控除 対象

第2類医薬品

成分・分量 (100g中)

成分	分量	はたらき
ジクロフェナクナトリウム	1.0g	痛みのもととなるプロスタグランジンの生成を抑えて、痛みをやわらげます。
メントール	3.0g	清涼感を与え、痛みをやわらげます。

添加物として、マコゴール、エタノール、ピロ亜硫酸ナトリウム、乳酸、疎水化ヒドロキシプロピルセルロースを含有します。

効能・効果

腰痛、肩こりに伴う肩の痛み、関節痛、筋肉痛、腱鞘炎(手・手の痛み)、肘の痛み(テニス肘など)、打撲、捻挫

用法・用量

1日3~4回適量を患部に塗布して下さい。ただし、塗布部位をラップフィルム等の通気性の悪いもので覆わないで下さい。なお、本成分を含む他の外用剤を併用しないで下さい。

〈用法・用量に関連する注意〉

- (1) 定められた用法・用量を厳守して下さい。
- (2) 本剤は、痛みやはれなどの原因となっている病気を治療するのではなく、痛みやはれなどの症状のみを治療する薬剤ですので、症状がある場合だけ使用して下さい。
- (3) 本剤は外用にのみ使用し、内服しないで下さい。
- (4) 1週間あたり50mLを超えて使用しないで下さい。
- (5) 目に入らないよう注意して下さい。万一、目に入った場合には、すぐに水又はぬるま湯で洗って下さい。なお、症状が重い場合には、眼科医の診療を受けて下さい。
- (6) 使用部位に他の外用剤を併用しないで下さい。
- (7) 通気性の悪いもの(ラップフィルム、矯正ベルト等)で使用部位を覆い、密封状態にしないで下さい。
- (8) 使用後は手を洗って下さい。

第2類医薬品

肩・腰・関節の

痛みに

ジクロフェナク
ナトリウム

l-メントール配合

効きめの成分が
直接浸透

タイアンテロン
DFクールローション

●スポンジタイプ

100mL

肩・腰・関節の
痛みに

ジクロフェナクナトリウム
l-メントール配合
タイアンテロン
DFクールローション
第2類医薬品 100mL

△ 使用上の注意

☒ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります。)

1. 次の人は使用しないで下さい。
 - (1) 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
 - (2) ぜんそくを起こしたことがある人。
 - (3) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
 - (4) 15歳未満の小児。
2. 次の部位には使用しないで下さい。
 - (1) 目の周囲、粘膜等。
 - (2) 皮膚の弱い部位(顔、頭、わきの下等)。
 - (3) 湿疹、かぶれ、傷。
 - (4) みずむし、たむし等又は化膿している患部。
3. 本剤を使用している間は、他の外用鎮痛消炎剤を使用しないで下さい。
4. 長期連用しないで下さい。

■ 相談すること

1. 次の人は使用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい
 - (1) 医師の治療を受けている人。
 - (2) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
 - (3) 次の医薬品の投与を受けている人。
 - ニューキノロン系抗菌剤
2. 使用中又は使用后、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに使用を中止し、このケースを持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい

関係部位	症 状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ、かぶれ、はれ、痛み、刺激感、熱感、皮膚のあれ、落屑(フケ)、皮膚のような皮膚のはがれ、水疱、色素沈着

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けて下さい。

症状の名称	症 状
ショック(アナフィラキシー)	使用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれます。
接触皮膚炎、光線過敏症	塗布部に強いかゆみを伴う発疹・発赤、はれ、刺激感、水疱・たれ等の激しい皮膚炎症状や色素沈着、白斑があらわれ、中には発疹・発赤、かゆみ等の症状が全身に広がる場合があります。また、日光があつた部位に症状があらわれたり、悪化することがあります。

- 3.5~6日間使用しても症状がよくならない場合は使用を中止し、このケースを持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。



台墨京博

副領出第